

# とくに要する人



## 避難所運営訓練にご参加を!

避難者はお客さんではありません。公的機関の支援(公助)が行き渡らない可能性のある発災当初の3日間を、自分たちの力で乗り切ることが必要です。平常時にこそ、避難所予定施設の場所や、避難所を開設する時に必要な「こと」や「もの」が何かということを知っておくべきではないでしょうか。

現在、市内32カ所の避難所予定施設で、順次「避難所運営訓練」を実施しています。日程は下表のとおりで、自宅最寄りの避難所予定施設だけではなく、どこの訓練会場でも申し込み不要で参加できます。ぜひ、訓練にご参加ください。

## 避難所運営訓練の流れ

避難所運営訓練実施日の9時に防災行政無線でサイレンを放送します。これに合わせ、地震が発生したという想定の下、各家庭で「シェイクアウト(地震から身を守る安全行動/左図)」を行ってから避難所予定施設に参集し、訓練に参加してください。

### シェイクアウト(Shake Out)とは

アメリカの南カリフォルニアで2008年から始まった新しい形の地震防災訓練のこと。指定した日時に、地震から身を守る安全行動「①ドロップ(まず低く!) ②カバー(頭を守り!) ③ホールド・オン(動かない!)」の一連の動作を一斉に1分程度行うものです。



①まず低く! ②頭を守り! ③動かない!

# 「公助」のかたち



## 命をつなぐ防災備蓄倉庫

災害時、救援物資が届く状態になるまでに3日かかるといわれています。その間を乗り切る、必要最低限の物が置いてあるのが防災備蓄倉庫。市内には、北部地区・中部地区・南部地区に3カ所の大型防災備蓄倉庫が、また、40カ所・45基のコンテナ型防災備蓄倉庫が各所にあります。

## コンテナ型防災備蓄倉庫に入っているものは

扉を開けてすぐ取り出せる位置には、避難所開設初期に必要な「避難所開設備品箱」と避難所看板を収納。まず最初に避難所開設チームの各担当が、安全に避難者を受け入れるための準備に使います。

その他、各地域の倉庫で保管している共通物品は次のとおりです。

### 共通物品

ワンタッチテント・特設公衆電話簡易トイレ(和式・洋式・車いす対応型)・ライト発電機・毛布・アルファ化米・パンの缶詰・救急セット・ラジオなど

大型防災備蓄倉庫には炊き出しに使うレスキューキッチンや投光器が▼



▲扉を開けるとすぐ目の前に

## 避難所開設備品箱は6箱。その中身は…



**安全点検時備品①**  
チェックリスト・避難所スタッフベスト・避難所運営マニュアルなど



**安全点検時備品②**  
拡声器・メガホン・軍手など



**安全点検時備品③**  
ヘルメット・腕章



**避難者受入準備等備品**  
要援護者ベスト・筆談器・避難者登録票など



**救急セット**  
ばんそうこう・マスクなど



**避難所運営時各種様式**  
各種様式など

### 避難所運営訓練日程・会場

実施日時		訓練会場 (避難所予定施設)
9月	3日(土)	東柏ケ谷小学校
	4日(日)	
	24日(土)	
	25日(日)	
10月	9時30分 ~12時頃(予定)	柏ケ谷小学校
		海西中学校
		国分コミセン、杉久保コミセン
		柏ケ谷コミセン、中新田コミセン、上今泉コミセン、門沢橋コミセンおよび有馬図書館、本郷コミセン、社家コミセン、下今泉コミセン、勝瀬文化センター、国分寺台文化センターおよび国分寺台ケアセンター、北部公園体育館、えびな市民活動センター・ビナレッジ、上星小学校、有鹿小学校、大谷小学校、社家小学校、門沢橋小学校、杉久保小学校、杉本小学校
		今泉中学校
		大谷コミセン、大谷中学校
11月	5日(土)	海老名小学校
	6日(日)	中新田小学校